

～モザイクタイルを使って、お祝いの気持ちを形や色で表す～

広島市立東野小学校 河林 奈央子

- 1 日時・場所 2月 日() 5年2組教室
- 2 学年・学級 5年2組(男子12名・女子15名)
- 3 題材について

○ 本学年の児童は、教師の指示をよく聞き、それに従って行動できるが、自分で考え判断して行動できる児童は少なく、主体性のなさや自信のなさが見られる。図画工作科においても、学習の見通しを持ち計画的に取り組める工作などは、意欲的にのびのびと活動できる児童が多いが、自分で表したいことを決めたり、自分のイメージを広げたり、自在に表現方法を工夫したりなど、自分の思いのままに表現できる児童は少ない。鑑賞においては、友人の作品を鑑賞してよさを感じ取ることができる児童は多いが、作者の表現の意図や作品にこめられた思いをとらえるまでには至っていない。また、写実的な表現が“よい作品”であるという見方・感じ方をしている児童が多い。

○ 本題材は、東野小学校5周年を祝って、祝福の気持ちを形や色で絵に表すという造形活動である。5年生の子どもたちが入学と同時に開校した東野小学校。もうすぐ6年生になるという今、自分の学校をよりよくしようという思いを大切にしながら、思いのままに表現する造形活動を通して、自分らしく表現する楽しさやつくりだす喜びを味わわせたいと考え、この題材を設定した。「気持ち」を色や形に表現することは児童にとって難しいと思うが、石や陶磁器(タイル)、有色無色のガラスなどの小片を寄せあわせ埋め込んで絵や模様を表す“モザイク”という手法を使うことで、自分の思いにあった色や形を見つける楽しさや、色の組み合わせの美しさを味わいながら、主体的に取り組むことができると考える。また、様々な色や形のタイルを組み合わせ、貼り合わせて表現する“モザイクアート”は、試しながら自分のイメージを広げ、色や形(模様)の美しさを自分の手でつくりだす楽しさを味わえる手法の一つだと考える。また、雨にぬれても丈夫なため、屋外に飾ることもでき、幅広い造形活動が展開できる。

できた作品を小学校のフェンスに飾って、5周年の記念作品として残すことによって、自分の学校へ対する思い(感謝・祝福の気持ち)を表現するだけでなく、自分たちの手でよりよい学校をつくっていかうとする主体性を育てていきたい。また、学校に愛着をもって最高学年に進むことを期待したい。

○ 指導にあたっては、表現意欲を高めるとともに、見通しをもって造形活動に取り組むことができるように、材料・用具の扱い方やモザイクアートの表現方法については事前指導を十分に行う。導入時には、モザイクアート作品や世界のモザイクアート作品などを鑑賞し、モザイクアートの形や色の美しさに触れる中で、自分なりの表現のイメージを広げていけるようにする。また、この学習の前に「気持ちを表す形や色」というミニ題材に取り組み、様々な感情を形や色で表す楽しさを味わわせ、一人ひとりの色や形によるイメージを大切にする。自分の思いに合わせて表現方法を試したり工夫したりできるように、多様な色と形の材料(石、陶磁器、ガラスなど)を準備し、活動の際にけがをしないように、安全には十分配慮する。

4 題材の目標

開校5周年の祝福の気持ちが表れる色や形をイメージし、石や陶磁器、ガラスなどの材料を使って、自分の表したいイメージを自分なりに工夫して心をこめて絵に表す。

5 題材の評価規準及び学習活動における具体的評価規準

	ア造形への関心・意欲・態度	イ発想や構想の能力	ウ創造的な技能	エ鑑賞の能力
題材の評価規準	形や色で気持ちや感じを表すことに興味をもち、自分の気持ちなどを絵に表そうと意欲をもって取り組もうとする。	気持ちや感じを表せるように、多様な材料を生かして形や色をいろいろ試し、自分なりの表し方を考える。	自分の気持ちや感じを表れるように、材料や表し方を様々な工夫して表す。	自他の作品を見合い、思いや願いに共感したり、表し方のよさや違いを感じ取ったりする。
学習活動における具体的評価規準	①多様な色や形の材料を組み合わせたり、貼り合わせたりしながら、自分の表したい気持ちや感じを表そうとしている。	①自分の表したい気持ちやイメージした感じが表せるように、材料の色や形を選び、デザインを考えている。	①自分の気持ちや感じを表れるように、材料の特徴を生かしながら、色味や濃淡、模様や形など、表し方を工夫している。	①自他の作品を見て、形や色、表し方の工夫から、気持ちや感じを想像し、お互いの表現の意図をとらえている。

6 指導と評価の計画（全6時間）

時間	学習活動	学習活動における具体的評価規準等		
		評価規準 評価方法	十分満足できると 判断される状況	努力を要する状況 への手立て
第一次 1	「形や色で気持ちを表すと!？」(鑑賞・表現) ・教科書の作品などを鑑賞し、気持ちを形や色で表すことを楽しむ。	エー① 鑑賞カード・発言 アー① 活動の様子・観察	・教科書の作品を見て、形や色、表し方の工夫から、気持ちや感じを想像している。 ・様々な気持ちを色や形で表そうとしている。	・作品の全体ではなく、形や色など部分に着目させて、気持ちや感じを想像させる。 ・自然鑑賞できるような雰囲気をつくる。
第二次 1 2	「モザイクアートで祝福を表そう」(表現) ・祝福を表す色や形をイメージし、デザインを考える。	アー① 活動の様子 イー① 活動の様子・観察・作品	・気持ちや感じを表せるように、多様な材料を生かして形や色をいろいろ試し、自分なりの表し方を考える。	・イメージが思い浮かばない児童には、モザイクアートの作品を紹介したり、対話をしたりして、色や形のイメージを広げていく。
3 4	・自分の表したいイメージに合わせて、モザイクタイルで絵に表す。	ウー① 活動の様子・観察・作品	・表したいことに合わせて材料を選び、モザイクアートの手順に沿って、ていねいに取り組んでいる。	・モザイクアートの手順を明確に示す。
第二次 1	「作品を飾ろう」(鑑賞) ・作品をフェンスに飾り、作品を見合う。	エー① 活動の様子・鑑賞カード	・展示作品を見て、表し方のよさや美しさや個々の表現の違いなど、形や色のイメージを手がかりにしながらか感じ取っている。	・印象に残った作品や自分が気に入った作品を見つけさせ、どこが好きなのか具体的に思いを聞き出す。

7 本時の目標

- 開校5周年の祝福の気持ちを色や形でイメージし、モザイクアートのデザインを考える。

8 準備物

- (指導者) 木製ボード (cm× cm) 各種タイル (陶器・石・ガラス) シーグラス
モザイクアートの作品例 (写真) ワークシート (構想メモ)
- (児童) 筆記用具

9 本時の展開

学習活動	教師の支援	評価規準・評価方法
1 題材と出会う。 ・モザイクアートの作品を見る。	・モザイクアートの形や色の美しさや、形や色のイメージを感じ取らせ、モザイクアートへの関心を高める。	○多様な色や形の材料を組み合わせたたり、貼り合わせたりしながら、自分の表したい気持ちや感じを表そうとしている。アー① (関)
2 本時の学習内容をつかむ。 ・題材名やめあてを確認する。	・開校5周年のお祝いの気持ちをモザイクアートで表すことを伝え、目的意識と表現意欲を高める。	
3 構想を練る。 ・祝福の気持ちを色や形でどのように表すか、デザインを考える。	・イメージが思い浮かばない児童には、モザイクアートの作品を紹介したり、イメージマップを書かせたり、対話をしたりして、色や形のイメージを広げていく。	○自分の表したい気持ちやイメージした感じが表せるように、材料の色や形を選び、デザインを考えている。 イー① (発・構)
4 次々の活動について知る。		